

おでかけ支援実証運行(第2回・山間地)に向けた進捗状況について

おでかけ支援実証運行事業は、平坦地、丘陵地、山間地と3つの地域をモデル地区と位置づけ、令和7年度から実証運行やアンケート調査を実施するとともに、アンケートの結果等を基に、この間、地域の皆さまや交通事業者等と協議を重ね、平坦地(大久保町平盛・旦棕)と丘陵地(木幡南山地域)の2つの地域につきましては、8月3日から2回目の実証運行を開始いたしました。

この度、山間地域につきましても、地域との協議を踏まえ、2回目の実証運行の実施内容が概ねまとまりましたことから、下記の通りご報告いたします。

1.1 回目の実証運行の運行実績

運行期間: 山間地 令和8年2月16日～5月29日

	登録者数	利用した登録者数	延べ利用者数 (+1乗車含む)	運行回数
山間地(ほないこ Car)	69	1	2	1
山間地(ほないこスクール Bus)	27	10	50	39
大久保平盛・旦棕(平坦地)	253	29	150	98
木幡南山(丘陵地)	154	57	203	141
合 計	503	97	405	278

2. アンケート結果

◆山間地域 (⇒詳細は資料1参照)

(アンケート250部配布、登録者数Car69人、Bus27人)

	回答数(人)	備考
回答総数	97	配布数250部の約39%が回答
内登録者	64	登録者96人の約67%が回答
未登録者	33	—

回答総数	97	—
紙回答	59	回答者97人の約61%
web回答	38	回答者97人の約39%

3. 第1回実証運行の評価(山間地)

◆評価指標の状況

評価指標	評価値	
	山間地(Car)	山間地(Bus)
① おでかけ発生率 (利用登録者の回答のみをカウント) 『自分でおでかけする機会が増えた』回答数 ÷ 利用登録者数	6.3% (6人/96人)	
おでかけ発生率(期待値) 『自分でおでかけする機会が増えそう』回答数 ÷ 回答総数	38.1% (37人/97人)	
② 公共交通利用率 路線バス乗換え人数 ÷ 延べ利用者数	13.5% (7人/52人)	
公共交通利用率(期待値) 『バス利用が増えそう』回答数 ÷ 回答総数	35.1% (34人/97人)	
③ 乗合い乗車率 延べ利用者数 ÷ 総運行便数	2.0人/回 (2人/1回)	0.3人/回 (50人/162回)
乗合いの自然発生率 他人と乗車した便数 ÷ 総運行便数	0.0% (0回/1回)	4.9% (8回/162回)

◆第2回実証運行に向けた見直しのポイント

<住民アンケートや地域との協議でのご意見に基づく見直しのポイント>

- ・「運賃が安ければ乗継ぎしてもよい」という意見が半数近くある一方で、「運賃が高くて乗継ぎなしで市街地へ行きたい」というご意見も一定あったことなどから、ほないこ Car の笠取・二尾コースに市街地への直通便を検討
- ・駅周辺に目的地を希望する意見もある一方、既存の公共交通と競合しない方針については一定理解するとの意見が多かったことから、目的地の方針には変更なし

<運行実績に基づく見直しのポイント>

- ・「ほないこ Car」の利用が少なかったことから、次回の実証運行では運行日と運行時間を増やし、地域の移動需要の実態把握に努める
- ・余裕を持った配車調整時間を確保するため、「ほないこ Car」の予約締切時間の見直しを行う
- ・ほないこスクール Bus については、笠取・二尾地域において乗車する利用者がなかったことから、不要な停留所については利用を休止する
- ・ほないこスクール Bus の夕方便②(西笠取方面)は、京滋バイパスよりも、府道二尾木幡線を経由して山間地に入る場合が多いことから、出発地を、「JR 黄檗駅」⇒「コミュニティこはた館」に変更

<学識経験者の意見>

- ・利用者の需要と合っていないため、運行日や運行時間帯等の検討が必要

4. 第2回の実証運行の見直し案

◆実施方針(前回からの変更はなし)

- ⇒既存公共交通と競合する駅へのルートなどは避ける
- ⇒目的地は、近隣のスーパーマーケット、病院、路線バスの停留所など
- ⇒持続可能な制度とするため、乗合い乗車を促進する

◆主な見直し内容

<ほないこ Car>

- ・笠取・二尾地域の目的地として「フレンドマート宇治菟道 直通便(500円)」を追加
- ・地域の移動需要の実態を把握するため運行日を週3日、運行回数を1日5往復に増便
 【笠取・二尾地域】「毎週火曜 1往復のみ」⇒「毎週火・木・金曜 各5往復」
 【炭山地域】「毎週火曜 1往復のみ」⇒「毎週火・木・金曜 各5往復」
- ・予約は「1時間前まで」から「前日まで」に変更

<ほないこスクール Bus>

- ・炭山地域において、「朝便」「夕方便」とも「第2炭山橋」、「京焼前」の停留所を追加
- ・笠取・二尾地域において、朝便は「アクトパル宇治」以外の利用を休止
- ・笠取・二尾地域において、夕方便は「二尾」、「笠取 IC 前」の利用を休止
- ・夕方便②(西笠取方面)の出発地を「JR 黄檗駅」⇒「コミュニティワークこはた館」に変更

- ◆実証運行の詳細 ほないこ Car パンフレット ⇒ [資料2](#)参照
 ほないこスクール Bus パンフレット⇒ [資料3](#)参照

5. 実証運行の評価方法について

おでかけ支援事業の効果及び持続性を、下記の指標により評価する。

- ① おでかけ発生率：「『自分でおでかけする機会が増えた』回答数 / 利用登録者」
- ② 公共交通利用率：「路線バス乗換え人数 / 延べ利用者数」
- ③ 乗合い乗車率：「延べ利用者数 ÷ 総運行便数」

6. 実証運行のスケジュール(予定)

	5・6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大久保町平盛・旦棕 (平坦地)	地域との意見交換		第2回実証運行(8/3~10/30)			アンケート調査	
木幡南山(丘陵地)	地域との意見交換		第2回実証運行(8/3~10/30)			アンケート調査	
山間地		地域との意見交換	運行開始	第2回実証運行(9月中旬~12月下旬)		アンケート調査	
備考		【山間地域】 8/24 建設・水道常任委員会報告(実証運行内容) 8月~9月 道路運送法手続(国交省) 8月末頃 地元説明会					

※山間地の実証運行の時期は、法手続の進捗状況等により変更となる場合があります。